

「特急ひだ」が止まった！

山下上 山腰進

JR高山本線全通80周年の記念イベントが、8日に開かれ、「特急ひだ」が2本止まりました。  
この日は「紅葉散策ウォーキングと実りの食体験」ということで、臥龍公園では、一之宮イベント推進実行委員会や秋の収穫祭実行委員会による農業祭が行われました。

特急が止まって、下車できるのは、これまでなかったことではないでしょうか？記念切符も発行されていました。一ノ宮駅で降りる人はイベントに参加する人がほとんどでしたが、会場では地元の人も多く参加され、用意した特製汁も500食近く振舞われたそうです。



一ノ宮駅にはワイドビュー特急ひだがこの日は2回停車

ウォーキングでは家族連れも多く、中にはリピーターの人もいるということでした。収穫祭は、例年文化祭開催時に合わせて行っていました。今年はこの企画に合わせて実施されました。問坂さんの檜傘をはじめ、つきたての餅や地元で採れた米や野菜、だんごやパン等が販売され、多くの人でにぎわっていました。

鉄道に関しては、7月1日号に古田民子さんが書かれています。宮トンネルから出てきた夜汽車の光に魅せられて紙芝居を制作されたとのことでした。

私も、蒸気機関車がモクモクと煙を吐きながら、トンネルを登って行く姿を教室の窓から見ていたことを思い出します。時には、あの大カーブを登りきれず、再度戻って登っていたこともありました。また、2両でけん引する様子を見たこともありました。

汽車のその姿は、何かしら人間的な魅力があり、今でも蒸気機関車が人気のある理由でしょう。ただ、古田さんも言うてみえましたが、トンネルでは機関車のススが入ってくることは、急いで窓を閉めたりして、閉口しました。

今でも高山線の列車を何と呼ぶか悩むことがあります。つい汽車と言ってしまいがちですが、既に汽車ではないディーゼル車ですか？やはり列車が無難でしょうか？

まち協の活動紹介！！

るところです。そうした具体的な内容はさておき、私たちが一番知りたかったのは、様々な事業に取り組む組織体制にありました。

しらやま振興会の組織は本部があってその下に8つの専門部があります。一之宮の4つの部会をさらに細分化した形をとっていますが、基本的には似ています。部会には部長と副部長、会計のほか、事務局がいるのが特徴で、その4人で4役会を構成しています。

そのほか、専属の雇用関係にある事務員が1人ということでしたが、公民館の主事など市の職員がどう絡んでいるのかがポイントの一つだと思いました。

いずれにしても、多種多様な事業をこなす力があるのかは、役員をはじめ、地域住民の地域振興へ向けた意識の高さだと思いました。

今回の研修が、今後の一之宮町のまちづくりをどう進めていくかを真剣に考える契機になることを期待したいと思います。(事務局：伴場)

まちづくり先進地視察を実施  
まち協役員ら19人が越前市に

一之宮町まちづくり協議会では、今後のまちづくりの運営や計画に生かすための先進地事例に学ぼうと、先進地視察研修を11月26日に実施しました。今回の「まちづくりNOW」ではその概要について報告します。

視察先を選んだのは福井県越前市にある「しらやま振興会」です。越前市では現在高山市が進めている「協働のまちづくり」に似た、市の交付金支給による自主運営による自治方式が平成16年から導入されています。自治組織は校区毎に17組織あり、「振興会」という名前で呼ばれています。今回訪問したのはそのうちの一つ「しらやま振興会」で旧白山村が母体です。

視察研修に参加したのは、まち協の田邊会長以下本部役員、部会長、委員長など、また一之宮支所職員を含む19人。しらやま振興会側では振興会長以下6人で対応をしていただきました。事前に資料を取り寄せ、質問事項を整理して予め先方に送っていましたので、それに基づき、質疑応答方式で研修を受けました。

しらやま振興会地域は、548世帯、人口1774人と、規模は一之宮町と近いのですが、地形的には一之宮と違って市街地から遠い中山間地にあり、高齢化率、少子化率とも高い地域です。しかし、一之宮と似て、里地里山の自然資源は豊富で、コウノトリの飼育を通じた各種事業などそれを活かしたまちづくりに積極的に取り組んでい



質疑応答形式でしらやま振興会から説明を受ける一行

なお、小学生のいる家庭には学校を通じてチラシを配布しますので、そのチラシで申し込んでいただいても結構です。

映画「じんじん」上映会のお知らせ

高山市町内連絡協議会では映画「じんじん」の上映会を開催します。

この映画は、「絵本の里づくり」を進める北海道剣淵町を舞台に、「絵本の力」と「親子の絆」を描いた作品です。「じんじん」とは、あたたかな感動とやさしい気持ちがじんじんと広がっていくようにと付けられました。

ぜひ多くの人に鑑賞していただきたいと思います。

日時：12月13日(土) 第1回 午後1時30分  
第2回 午後6時30分

会場：高山市民文化会館小ホール  
料金：1,000円(前売券、当日券1,500円)小中高生800円

前売券は一之宮公民館で扱っています。

火の元点検及び消防秋季訓練のお知らせ

日時 平成26年12月7日(日) 8:30~火の元点検  
13:00~秋季訓練

8時30分から消防団員等が各家庭を訪問し、防火対象物の安全点検を行います。各班の自主防災組織員と女性防火クラブ員の方のご協力をお願いします。

秋季訓練前(12時30分)にサイレン吹鳴を行います。

編集後記 いよいよ雨に白いものが混じって降るような季節になりました。また、今年は熊情報が広報高山から流れてきます。慣れっこになってしまいましたが、街中の意外なところから、目撃情報があるのには驚きです。一之宮ではあまり情報はありませんが、油断しないようにしましょう。

東日本大震災・女川町義援金募金への協力をお願い

まち協では、まち協設立記念事業として今年5月に東日本大震災の被災地宮城県女川町へ復興を祈念して「臥龍桜の苗木」を届けました。女川町では「臥龍桜の苗木」を復興のシンボルとして位置づけ、大切に育てていくことを約束されました。

そこで、これを機に女川町とのつながりを大切に、一日も早い被災地の復興を願って募金活動を行うことにしました。

募金は町内を通じて班単位で集めることになりましたので、町民のみなさまのご理解と温かいご支援をお願いします。

年末お鏡餅づくりとちよっぴりお餅deランチ会参加者募集！

まち協健康福祉部福祉委員会では、「地域のおじいさん、おばあさんと子どもでお鏡餅を作ってお正月を迎えよう」と、お鏡餅作りを計画しました。当日は餅つきもしたり、餅を使った昼食も食べたりと楽しい会にしたいと思います。ぜひ参加してください。

日時：12月27日(土)午前10時~12時頃

会場：一之宮公民館  
対象：小学生、孫のいる年代の人(実際に孫がいるかどうかは問いません)

参加費：1人100円  
持ち物：お鏡餅を入れる容器  
申込み：一之宮公民館(53-2424)に電話で申し込んでください。  
締切：12月15日



図書館だより

今の特集「子育ての味方」

誰かに相談したい…。そんな子育ての悩みを解決しませんか？子育てに関する資料を集めました。



お知らせ

年末年始の休館日  
12月29日(月)~1月3日(土)までお休みします。

おはなし会のご案内

「図書館一之宮分館 おはなし会スペシャル」  
クリスマスをテーマにした絵本の読み聞かせ・紙芝居・人形劇、簡単な工作もあります。  
日時：12月6日(土)  
午後1時~2時

場所：一之宮公民館 和室  
協力：一之宮町読み聞かせボランティア「お話玉手箱」  
入場無料です。申し込みは必要ありません。

公民館から

展示コーナー

生涯学習講師作品展(12月末)

12月の公民館定休日

8日(月) 22日(月) 24日(水)

29日(月) 1月3日(土)

12月の位山交流館定休日

1日(月) 8日(月) 15日(月)

22日(月) 1月3日(土)

29日(月) 1月3日(土)

一之宮町の人口情勢

世帯数		819戸	
年齢	男性	女性	合計
0~14歳	203	168	371
15~64歳	732	744	1,476
65歳以上	319	456	775
合計	1,254	1,368	2,622

日曜	1月	4日	7日	13日	15日	22日	27日	2日
生涯学習講座「昭和歌謡を歌おう」(公民館)	行政相談、心配ごと結婚相談(交流館)	火の元点検 消防秋季訓練	サタデイサークル	生涯学習講座「昭和歌謡を歌おう」(公民館)	町内会長会(支所)	年末お鏡餅づくり(公民館)	新成人を祝うつどい(公民館)	

つばき  
冬を前にした風物詩、ヘクサムシ。皆さんの家では今年の出没状況はいかがでしょうか？うちではヘクサムシが少なく、テントウムシのほうが多い感じ。ヘクサムシが少ないと雪も少ない(?)とも言われますが、この冬はどうでしょうか。ヘクサムシも雪も、季節の風物詩として無いのは寂しいですが、多すぎずほどほどでお願いしたいですね。(つばき)

# 出展・出演は喜びと元気なあかし



勇壮な太鼓演奏を披露する飛騨高山高校太鼓部のみなさん。熱演に終わってからもしばらく拍手が鳴り止みませんでした。

一之宮町文化祭が11月1日から3日まで開催され、多くの

町民の方が作品や芸能に触れて楽しみました。文化祭は作品展示と芸能発表



オープニングを飾る宮小3・4年生の演奏

に分けて行われ、このうち作品展は1日から3日まで飛騨位山文化交流館で開かれました。展示には絵画、絵手紙、陶芸、手芸や写真など12部門に120人が出品しました。3日には開会式が一之宮公民館で行われ、引き続き芸能発表会が行われました。発表会は宮小学校3・4年生の器楽合奏・合唱の「デイズニールドへようこそ」と宮中学校3年生の合唱「信じる」など



お茶席には子どもの姿も



作品展にもたくさんの方が訪れました



「まわり会」では健康展とお菓子のサービス



今年はギター演奏も登場と多彩でした

## 一之宮まち協だより

第7号

平成26年12月1日

一之宮町まちづくり協議会  
広報委員会

高山市一之宮町3087  
電話 53-2424

で幕が開けました。芸能発表には約160人が民踊や大正琴、声楽、カラオケなど25の演目に出演して、日頃の練習の成果を披露しました。特に今年は、臥龍太鼓の太鼓を貸し出している縁で、飛騨高山高校太鼓部が出演し、芸能発表の最後を飾りました。演奏が

始まると次第に勇壮で力強い太鼓の音が館内を満ち、観客は圧巻の響きの中で最後まで聞き入っていました。このほか、3日には公民館であけぼの会によるお茶席も設けられ、また、協賛として、飛騨まわり会の健康展も開かれ、芸能祭に訪れた人で賑わいました。

## ニュースのひろは

### 小中PTAが講演会開催 ネット社会に潜む恐れを指摘

一之宮公民館で11月14日、宮小中学校PTA合同主催による「ネット社会に潜む影」と題した講演会が開かれました。講師は、ネット社会で子ども達に与える影響を研究されている下呂市の小学校教諭中谷和彦先生で、宮小中学校の保護者・先生など約60名が参加しました。

中谷先生は、インターネットや携帯電話・スマートフォンなど情報端末機器の利便性の「光の部分」の話を中心に話をされました。その中で、子どもがネットから悪影響を受けやすいのは、大人に比べ「常識の壁」が低く、現実社会とネット社会の区別ができない未成熟のため、いじめなどの問題行動を起こしたり、犯罪に巻き込まれたり、さらにネット依存症に進む恐れがあるなど、少し怖い事



ネット社会の危険性について話す中谷先生

例を交えながらその危険性を指摘されました。この危険回避の対策として、子ども達に現実社会の良さを味わわせることが大切で、そのためには、

「情報の問題」ではなく、親・地域・学校が「一致団結」する意識自体が子ども達を救うと力説されました。なお、一之宮町まちづくり協議会では、宮小中学校の児童・生徒及び高校生とその保護者を対象に「情報端末機器の利用について」の意識調査を講演会に先駆け実施しました。その内容は後日当紙面に公表する予定です。

### 高山市地区社芸祭 オカリナクラブが出演



息の合った演奏を聞かせるオカリナクラブ

第24回高山市地区社芸祭が11月16日に高山市民文化会館で開催され、一之宮町からはオカリナクラブが出演しました。芸祭は高山市消防団音楽隊のオープニングに続いて、市内19地区から22の団体が出演して日頃の

練習の成果を披露しました。8番目にステージに立ったオカリナクラブは「ピリッ」など3曲を演奏。6人が息の合った演奏を聞かせていました。

今年の芸祭には、越中五箇山民謡保存会が特別出演して表屋節や「こきりこ」などを演奏して最後を盛り上げました。なお、来年度からの協力のまちづくりにより、今後どのような形で芸祭を行うかが検討されます。

### 子ども見守り隊「誕生 関係者が集まって発足式

一之宮町の子ども見守り活動の発足式が11月25日に一之宮支所でボランティア応募者や関係者が集まって開催され、これまで「スクールサポーター」として行われた活動を見直して再スタートすることになりました。スクールサポーターの制度が始まってからほぼ10年が経過し、ボランティアに加わる人が限定されてきたことなど、課題が指摘され



子ども見守り活動の再スタートについて話し合う参加者

ていました。まちづくり協議会が発足したのを機に見直しを図ることになり、ボランティアを再募集しました。新しい子ども見守り活動は、応募した15人の「地域ボランティア」と子ども会育成委員やPTA役員等による「保護者ボランティア」で行われます。また、発足式では活動の名称を「一之宮町子ども見守り隊」とすることも承認されました。

### 「お話玉手箱」が受賞 活動評価され子ども支援賞



表彰状を手にする野口さんと野中さん

子ども達への読み聞かせ活動をしている「お話玉手箱」が平成26年度の岐阜県地域子ども支援賞に選ばれました。この賞は、子ども達が地域で行う様々な活動を支え、地域から高い評価を得ている個人や団体を表彰するものです。「お話玉手箱」は平成8年に設立された会でメンバーは現在8人、月1回の割合で、保育園では紙芝居や絵本の読み聞かせ、小学校で

### 女性委員会中央地区 グラスアーツ教室開催

まち協健康福祉部の女性委員会中央地区では11月16日、グラスアーツの坂下恵美さんを講師に、グラスアーツ教室を野公民館で開きました。参加したのは親子連れなど大人13人と子ども7人。

参加者は、ミニティッシュケースや小物入れ、小瓶、キャンドルグラスの中から、自分が作りたいものを選択。その後、あらかじめ切ったカラーフィルムとリード線を貼って作っていきまし



親子で楽しみながら作業する参加者

「簡単に素敵な作品が出来上がり楽しい」などの声も出て、茶菓子を食べながら自己紹介をするなど、楽しい交流の場にもなりました。